

# お元気ですか



市立長浜病院  
院長  
高折 恭一

## 市立長浜病院の取組み

### 令和4年度に向けて

令和3年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった一年間で、市民生活への影響は甚大で、経済活動に打撃を与えました。医療現場でも、様々な困難に直面しましたが、市立病院として長浜病院は湖北病院とともに、市民の皆さまに安全・安心な医療を提供するため、最大限、努力してきました。

一方で、コロナ以外の通常診療を維持することも非常に重要です。優秀な専門医を積極的に招へいし、常勤の医師・歯科医師数は100人を超えました。特に、腎臓代謝内科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、外科、消化器内科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リウマチ・膠原病内科では、充実した診療体制を整えることができました。施設面でも、40億円以上の費用をかけた大規模病棟改修工事等が竣工し、アメニティとプライ

バシーを重視した病棟へとリフォームしました。

現在、新型コロナウイルス感染症対策として面会禁止になっていますが、オンライン面会を利用していたり、入院中もご家族と連絡を取っていただけるようにしています。また、院内随所に無料Wi-Fiアクセスポイントを設置する工事を進め、さらに快適に過ごしていただけるように努めています。

リニューアルオープンしたヘルスケア研究センターでは、市民の皆さまに気軽に健康チェックをしていただく体制を整えています。最新のCT(コンピュータ断層撮影装置)/MRI(核磁気共鳴画像装置)を導入し、精度の高いがん検診が可能です。コロナ禍では検診機会の減少により、癌が進行したステージで診断される割合が高くなること報告されていますが、当院では十分な感染対策をしておりますので、安心して受診してください。

令和4年度は、さらに医療機器の整備を進め、チームワークを発揮して、市民の皆さんから信頼される病院として頑張ります。

市立長浜病院  
68・2300(代表)

このコーナーでは、病院施設や事業のほか、生活に役立つ“健康豆知識”などを紹介します。

## ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく誇り輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

長浜市指定文化財  
「元三大師坐像(大吉寺)」1躯  
指定日：昭和62年7月21日  
所在地：野瀬町



▲元三大師坐像

天台宗寺院、寂寥山大吉寺に伝わる木造元三大師坐像です。元三大師は、近江国浅井郡出身の天台僧で、名を良源といいます。康保3年(966)に第十八代天台座主天台宗を統括する首席の僧に就任し、およそ20年にわたり比叡山延暦寺を治めました。藤原氏の厚遇を得て、堂塔の復興整備や天台教学の振興、寺の境内の規律を引き締めることに手腕を発揮しました。後に鎌倉新仏教を開いた多くの祖師を輩出する基盤を整えたことから、「比叡山中興の祖」として尊び、あがめられました。永観3年(985)1月3日に亡くなったことから、「元三大師」の名で広く親しまれています。また、朝廷から「慈恵」の諡(生前の行いを尊んで贈る名刺)をもらいました。

歴史遺産課(☎63・4611)

文様を施した衣装を身に着け、右手に数珠、左手に密教の法具「独鈷杵」を持つています。木造の頭部と体幹部は、内部を削り抜き、目には水晶(玉眼)を入れてあります。像高23・1cmの小ぶりな像ですが、太い眉毛と、目尻を上げた厳しいまなざしが元三大師像の特徴をよく捉えています。比叡山発展に多くの功績を遺した良源は、角大師や豆大師、おみくじの祖など、民衆的な信仰の中で生き続けてきた人物でもありました。加持祈祷に優れた僧侶として、天皇家や藤原家の祈祷を行っていたことから、非常に強い法力をもった魔を降す人物として畏れられ、良源自身が信仰の対象となっていくきます。やがて、疫病退散や外敵調伏の性格などを加え、各地で良源の肖像が彫刻や絵画、刷り物などに表され、盛んに信仰されるようになりました。本像は、そんな信仰の証として造られたものと考えられます。

## ●広報ながはまに関するご意見 (今後、特集を希望するテーマ)

年齢 歳 ( 男性 ・ 女性 )

※担当課からの返事をご希望の場合は、氏名・ご住所・連絡先(電話・メールなど)をご記入ください。

## ●市政に関するご意見

## ながはまの自然 不思議発見!

エピソード 18  
「山本山のおオワシ降臨」

このエピソードを紹介する おもしろ動画はコチラ



### 山本山のおオワシ図解



提供: 朽木 忍 氏

今年も山本山に熱いまなざしを向ける人々が集っています。彼らの目的は「山本山のおおあちゃん」ことオオワシです。山本山のおおあちゃん、今季も11月19日に渡来したことが確認でき、連続渡来記録を更新し、今季で24シーズンとなりました。本来の越冬地の北海道から、直線距離で7百キロ以上も離れた長浜の地に渡り来ることだけでもすごいことですが、他にも多くの伝説を残しており、今月はその中から一つを紹介したいと思います。オオワシは、一日のほとんどを山本山の高い木に止まって過ごし、はるか先の琵琶湖に泳ぐ魚影を探しています。湖面までの距離は最短でも7百メートルあり、時には2キロ先まで魚が見えているようで、獲物を見つけると一直線に飛んでいき捕え

ます。視力と勘の鋭さは人知を超えます。オオクチバスをはじめ、水鳥まで狩る姿からは、凜とした生命力を感じさせられます。今年もぜひ元氣な彼女の姿を見に、湖北野鳥センターに来てください。

湖北野鳥センター  
☎79・1288

お知らせ

ながはま見聞録

保健だより

お元気ですか

ながはまの文化財

さまざまなタウン

みんなの掲示板

お知らせ

各種無料相談

ながはま見聞録

至誠通天

ながはまの文化財

さまざまなタウン

みんなの掲示板